

# カリキュラム

コースコード：24-128

タイトル	経営に活かす財務分析講座				
サブタイトル	数字から「次の一手」を読み解く				
研修のねらい	経営環境が激しく変化する中、経営幹部や管理者には、自社の経営状態を客観的に把握し、的確な意思決定を行う力が求められます。そのためには、経営活動の成果を示す財務諸表を正確に読み取り、分析することが重要です。 本研修では、財務の観点から会社の経営状態を定量的に分析する力を身につけるとともに、分析結果をもとに自社の問題点や課題を把握し、改善につなげるための考え方・手法を身につけます。				
研修の特徴	・財務諸表や財務数値の意味を実際の企業活動と結びつけて学びます。 ・財務諸表から自社の問題点や課題を客観的に把握する方法を学びます。 ・実際に自社の財務分析に取り組み、学んだ知識を実践へと繋がります。				
対象者	経営幹部、管理者 ・財務分析力を高めたい方 ・自社の経営改善に取り組みたい方 ・経理部門の責任者の方	定員/最大定員	20名		
		研修期間/時間数	2024年9月18(水)～20日(金)		
			3日	21時間	
		会場	中小企業大学校瀬戸校 1階 PC実習室		
		受講料	32,000円		
科目構成					
日付	時間	科目	内容	講師	
9/18 (水)	9時20分～9時40分	開講式・オリエンテーション			財務リスク研究所株式会社 代表取締役 横山 悟一
	9時40分～17時40分 (昼休憩12:30～13:30) (7.0H)	財務分析の基本的視点と 考え方	財務分析の基本的な視点や考え方について、演習を交えて学びます。  ・財務分析の意義 ・損益計算書（P/L）の視点からの分析アプローチ ・貸借対照表（B/S）の視点からの分析アプローチ ・財務諸表から仮説を導く		
	18時10分～19時10分	受講者交流会			
9/19 (木)	9時00分～17時30分 (昼休憩12:30～13:30) (7.5H)	財務分析の 実践トレーニング	財務分析の勘所について、キャッシュフロー計算書や損益分岐点の考え方も理解した上で、演習を中心に実践的に学びます。  ・キャッシュフロー計算書の意義と活用法 ・損益分岐点分析の意義と活用法 ・ケーススタディによる財務分析演習		
9/20 (金)	9時00分～16時30分 (昼休憩12:30～13:30) (6.5H)	自社の財務分析の実践	自社の決算書を用いて実際に財務分析を行い、経営課題の抽出や改善策の検討に取り組みます。  ・財務指標の意義とポイント ・自社の財務分析による経営状態の把握 ・自社の経営課題の抽出と財務の視点からの改善策の検討		
	16時40分～16時50分	閉講式			
講師氏名		略歴			
横山 悟一 (よこやま ごいち) 財務リスク研究所株式会社 代表取締役		会計事務所、コンサルティング会社等の勤務を経て、2002年アーネストコンサルティングを開業。2008年6月、名称を「財務リスク研究所」に変更。「財務与信格付けシステム」により、決算書の格付け、決算書に潜むリスクや粉飾を読み解くノウハウを確立。分析した決算書はすでに6,000社を超えている。「決算書が読める感動をすべての人に」という理念のもと、初心者立場に立ったわかりやすい研修や企業支援活動が高い評価を得ている。			